

人と地域が輝く教育を目指して

市では、毎年、学校教育の重点目標、各学校および教育委員会が取り組むべき事項を定め「旭市学校教育指導の指針」として示しています。

【平成26年度旭市学校教育指導の指針】

重点目標 1

「確かな学力」を育む

個に応じたきめ細かな指導により、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、言語活動や体験活動を積極的に取り入れ、自ら学び思考し、表現する力を育成します。

- 教諭補助員の全校配置や学習サポーターの配置
- 学校図書館司書の配置、学校図書館の整備、朝の読書活動や読書週間などの推進

重点目標 2

「思いやりのある豊かな心」を育む

人間関係づくりと道德教育の一層の充実を図るとともに、的確な判断力を育成します。

- 道德研修会の実施、道德授業の指導方法の工夫改善
- 児童生徒支援加配教員や小学校スクールカウンセラーの配置

重点目標 3

「健やかな体」を育む

運動に親しむ資質や能力の育成と体力の向上を図るとともに、食に関する指導の充実を図ります。

- 課外活動支援事業の活用
- 栄養教諭、学校栄養職員、食育関係者による指導、地



「太巻き寿司」作り

産地消の推進および安全・安心な給食の提供

重点目標 4

「望ましい勤労観・職業観」を育む

「働くこと」の理解および関心・意欲の高揚を図るとともに、生きる力や将来の社会人・職業人として必要な資質・能力を育成します。

- 職場体験活動、「ゆめ・仕事ぴったり体験」への支援

重点目標 5

「地域とともに歩む学校づくり」を進める

学校公開、学校評価の実施・公表、情報の発信などを行い、地域と連携した開かれた学校づくりを推進します。

- 学校いきいきプラン事業の実施、特別非常勤講師の配置、旭・学び助成金(旭3S)への協力、人材リストの共有化と提供

重点目標 6

「安全・安心な学校づくり」を進める

児童生徒の安全確保に配慮するとともに、家庭、地域、関係機関と連携し、防災・防犯体制の改善に努めます。

- 小学校版「地震・津波の教科書」、中学校版「防災対策総合ガイド」の配布、スクールガードリーダーの派遣、子ども110番の家の依頼
- 放課後児童クラブの設置・管理

重点目標 7

「一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育」を進める

児童生徒一人一人の障害の種類、特性などに応じた特別支援教育の充実を図るとともに、特別支援教育を支える学校体制を確立します。

- 特別支援教育研修会の実施や専門家チーム、巡回相談活動の充実

教 育 委 員 コ ラ ム



ひろ 「拡がる予感」

教育委員会委員

八木 雅之

「(前略)それにしても子どもたちの大勢の大人を前にして堂々とした意見発表は、60数年前の私どもには考えられないことです。このような貴重な経験が、子どもたちにとって教科の学習とは異なった経験として社会に出てからの糧となると思います。このような輪が大きく育っていったら素晴らしいですね。(後略)」

これは3月に実施された「旭3S」の報告会を見ていただいた方の手紙の一部です。私どもの活動の狙いを見事

に表してくださっています。昨年末、本紙上で旭3Sは「子どもたちの社会的貢献を意図した活動に助成金を提供し、学びの幅を広げる活動」「皆さんからの浄財が助成金に」と紹介させていただき、大きな反響がありました。何人もの方から「私も協力したい」「どこに届けたらよいのか」などの問い合わせがあったのです。うれしい悲鳴とはまさにこういうことなのだと実感しました。

報告会では、助成された団体が活動報告をしてくれました。この報告会が見応え(聞き応え)あるのは質問コーナーがあることです。どんな質問が飛び出すか分かりません。それに対して、ときには口ごもりながらも精一杯自分たちの考えを述べるのです。今回は、小学生からの鋭い質問があり、会場を沸かせました。大人も、子どももこの活動が「拡がる予感」を共有した一瞬でした。

ときまさに風薫る5月。次代を担う旭の子どもたちが体全体に爽やかな大人たちの追い風を受け、大きく羽ばたいてくれたら、と願わずにはいられません。